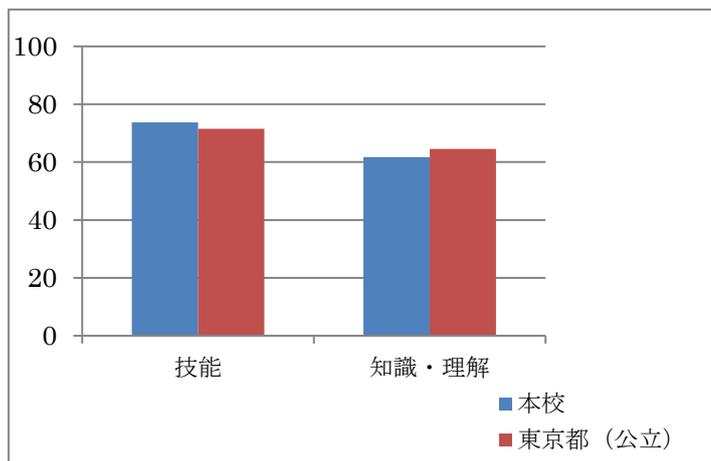


数学（全国学力・学習状況調査）

江戸川区立春江中学校

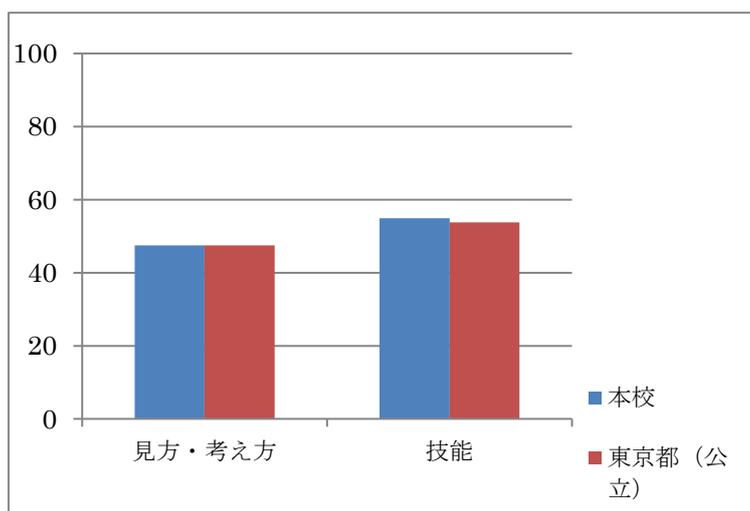
1. 分類ごとの平均正答率

(1) 数学A：主として知識



- ① 「技能」は東京都を上回ったが、「知識・理解」は昨年同様下回っている。
- ② 「数と式」、「資料の活用」に関しては東京都平均上回っており、「図形」、「関数」が下回っている。

(2) 数学B：主として活用



- ① 「見方・考え方」に関しては東京都平均と同じ、「技能」に関しては上回った。
- ② 短答式、記述式の問題においては東京都と全国平均を上回ったが、選択式の問題においては東京都平均を下回っている。

③ 「関数」以外の領域において、東京都平均を上回っている。

2. 調査問題から見た問題

(1) 数と式

- ・正負の計算に関しては、正答率が高かった。
- ・文字式の計算に関しては、正答率が高かった。
- ・方程式の式をつくる・解くことに関しては正答率が高かった。
- ・全体的に正答率は東京都平均を上回った。

(2) 図形

- ・与えられた円柱の見取図から、その円柱の投影図を選ぶ問題に関しては、正答率が高かった。
- ・直方体において、与えられた面に平行な辺を書く問題に関しては、正答率が高かった。
- ・ $\triangle ABC$ を辺 AB が辺 AC に重なるように折った線を作図するための線を選ぶ問題に関しては正答率が高かった。
- ・その他の問題に関しては正答率が東京都平均を下回った。

(3) 関数

- ・反比例のグラフから表を選ぶ問題に関しては正答率が高かった。
- ・一次関数 $y = 2x + 7$ について、 x の値が1から4まで増加したときの y の増加量を求める問題に関しては正答率が高かった。
- ・その他の問題に関しては正答率が東京都平均を下回った。

(4) 資料の活用

- ・1枚の硬貨を多数回投げたときの表が出る相対度数の変化の様子について、正しい記述を選ぶ問題に関しては正答率が高かった。
- ・大小2つのさいころを同時に投げるとき、和が8になる確率を求める問題に関しては正答率が高かった。

3. 指導改善のポイント

(1) 数と式

- ① 今まで以上に計算練習を取り組ませていく必要がある。
- ② どのようにして計算をしたのか、どうしてその計算方法を選択したのかなど、ただ計算するだけではなく、過程を説明したり、書かせるようにする。

(2) 図形

- ①基本的な知識の理解をより徹底していく必要がある。
- ②空間的に立体を捉え、見取り図、投影図、展開図など様々な見方ができるように、課題に取り組みさせる。

(3) 関数

- ①表・式・グラフなど基礎的な内容をより徹底する。
- ②比例・反比例・一次関数の表・式・グラフの関係を様々な角度からとらえられるようにする工夫が必要。
- ③より多くの場面で関数を利用して問題解決を行うような授業展開をしていく。

(4) 資料の活用

- ①代表値などの基礎的な知識の理解をより徹底する必要がある。
- ②基礎的な知識を使い、より多くの場面で資料を活用できる力をつける授業を展開していく必要がある。